

## 国内自転車生産・輸出入状況（平成26年1～6月）

### 1. 我が国の自転車生産

経済産業省生産動態統計調査によると、平成26年1～6月の我が国の完成自転車生産台数は508,373台、完成自転車生産金額は249億3,400万円であった。これらを前年同期と比較すると、生産台数は1.4%増、金額は14.8%増となっている。また平成26年1～6月の完成自転車生産平均単価は49,047円となっており、前年同期の43,340円から13.2%上昇した。この模様を表1に示す。

表1 平成26年1～6月の我が国自転車生産

	総台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成26年1～6月	508,373	24,934	49,047
平成25年1～6月	501,245	21,724	43,340
変化	7,128	3,210	5,707
変化%	1.4%	14.8%	13.2%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～6月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。「電動アシスト車」が大きく増加していることがわかる。

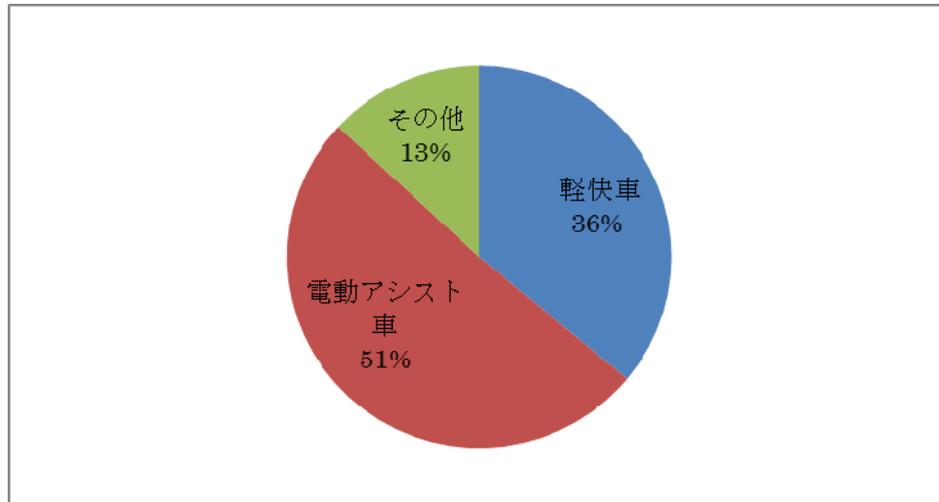
表2 車種別生産状況 平成26年1～6月と平成25年1～6月との比較

1～6月	平成26年		平成25年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	183,150	3,827	203,896	4,176	-20,746	-10.2	-349	-8.4
電動アシスト車	258,625	19,375	227,086	15,848	31,539	13.9	3,527	22.3
その他	66,598	1,733	70,263	1,701	-3,665	-5.2	32	1.9
計	508,373	24,934	501,245	21,724	7,128	1.4	3,210	14.8

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

表2を基に平成26年1～6月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が51%を占め、次いで「軽快車」が36%を占めている。

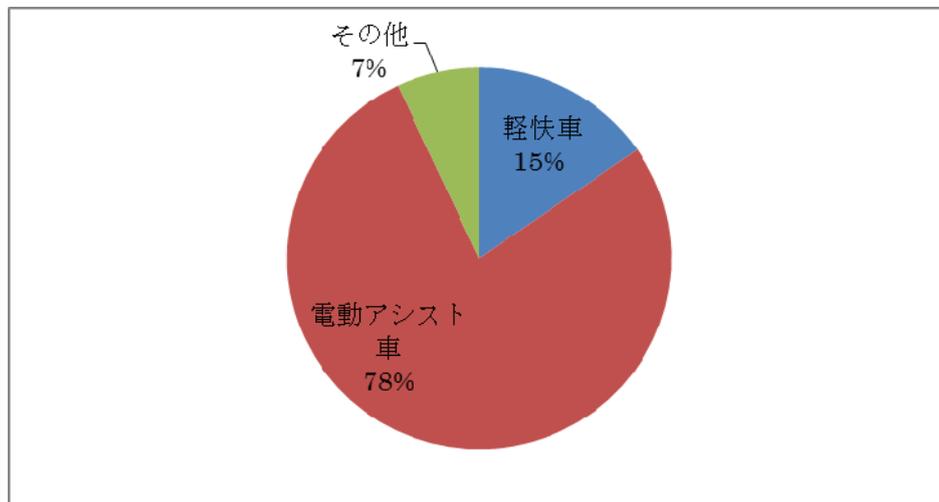
図A 平成26年1～6月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成26年1～6月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が78%を占めている。

図B 平成26年1～6月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成26年1～6月と平成25年1～6月とを比較した表3を示す。全ての車種で上昇しており、全体の生産平均単価は13.2%上昇している。

表3 車種別生産平均単価 平成26年1～6月と平成25年1～6月との比較

車種	平成26年1～6月 平均単価(円)	平成25年1～6 月平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	20,895	20,481	414	2.0
電動アシスト車	74,915	69,789	5,127	7.3
その他	26,022	24,209	1,813	7.5
計	49,047	43,340	5,707	13.2

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表4の通りとなる。生産台数・金額とも増加が続いており、平均単価も上昇している。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成26年と平成25年との比較

	平成26年			平成25年			平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価(円)	生産台数(台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	
1月	39,834	2,930	73,555	33,738	2,476	73,389	166
2月	42,915	3,124	72,795	39,834	2,436	61,154	11,641
3月	50,093	3,709	74,042	42,603	3,064	71,920	2,122
4月	42,224	3,179	75,289	40,518	2,890	71,326	3,963
5月	40,431	3,096	76,575	34,197	2,482	72,579	3,995
6月	43,128	3,337	77,374	36,196	2,500	69,068	8,306
1～6月	258,625	19,375	74,915	227,086	15,848	69,789	5,127

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

## 2. 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成26年1～6月における、「生産」、「受入」、「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況  
平成26年1～6月と平成25年1～6月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			6月末在庫 (台)
	台数	金額 (百万円)		販売		その他(台)	
				台数	金額 (百万円)		
平26.1～6 軽快車	183,150	3,827	461,856	518,221	8,001	187,202	63,728
平25.1～6 軽快車	203,896	4,176	518,489	563,643	9,173	197,045	105,555
変化 %	-10.2	-8.4	-10.9	-8.1	-12.8	-5.0	-39.6
平26.1～6 電動アシスト車	258,625	19,375	174,501	258,880	18,285	173,955	25,315
平25.1～6 電動アシスト車	227,086	15,848	157,006	225,701	15,480	153,215	26,149
変化 %	13.9	22.3	11.1	14.7	18.1	13.5	-3.2
平26.1～6 その他	66,598	1,733	214,210	219,351	4,145	73,359	31,083
平25.1～6 その他	70,263	1,701	248,199	246,847	4,298	75,406	60,959
変化 %	-5.2	1.9	-13.7	-11.1	-3.6	-2.7	-49.0
平26.1～6 全車種計	508,373	24,934	850,567	996,452	30,431	434,516	120,126
平25.1～6 全車種計	501,245	21,724	923,694	1,036,191	28,951	425,666	192,663
変化 %	1.4	14.8	-7.9	-3.8	5.1	2.1	-37.6

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年数値は改定値）、分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

「受入」台数についてみると、平成26年1～6月の全車種の「受入」台数は平成25年1～6月の「受入」台数に比べ7.9%減少した。車種別には、「軽快車」が10.9%減少したほか、幅広い車種を含んでいる「その他」も13.7%減少した。一方「電動アシスト車」の「受入」台数は11.1%増加した。「受入」台数の多くは自転車生産企業が輸入した自転車台数と推測される。「生産」台数と比較し「受入」台数はかなり多くなっている。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成26年1～6月の全ての車種の「出荷・販売」台数は平成25年1～6月のそれに比べ3.8%減少した。車種別にみると、「軽快車」が8.1%、「その他」が11.1%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は14.7%増加した。「出荷・販売」金額については、全車種では5.1%増加し、車種別では「軽快車」が12.8%、「その他」が3.6%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は18.1%増加した。

平成26年1～6月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成25年1～6月のそれに比べ2.1%増加した。車種別にみると、「軽快車」が5.0%、「その他」が2.7%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は13.5%増加した。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成26年6月の全車種の「月末在庫」台数は120,126台で、前年同月の192,663台から37.6%と大きく減少している。車種別には全ての車種で減少を示している。

表6に平成18年から平成26年まで過去9年間の毎年1～6月の我が国の自転車生産、出荷及び6月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～6月の自転車生産・出荷  
及び6月末在庫の過去9年間の推移

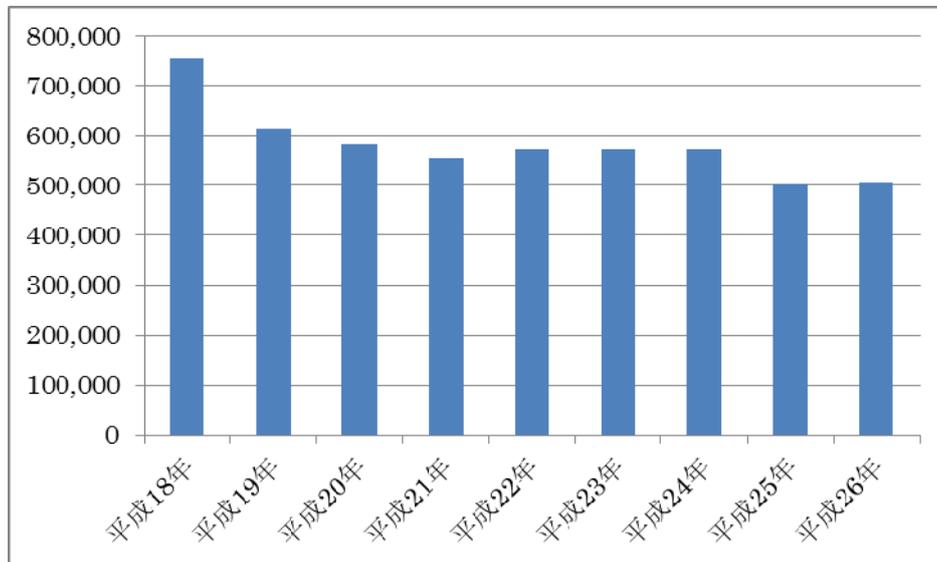
1～6月	生産			出荷			6月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成26年	508,373	24,934	49,047	996,452	30,431	30,539	120,126
平成25年	501,245	21,724	43,340	1,036,191	28,951	27,940	192,663
平成24年	572,870	23,413	40,870	1,518,578	33,996	22,387	212,882
平成23年	573,193	22,575	39,385	1,764,506	37,151	21,055	171,886
平成22年	571,753	20,102	35,159	1,720,957	32,846	19,086	210,186
平成21年	554,590	17,143	30,911	1,730,486	30,985	17,905	190,256
平成20年	582,440	14,408	24,737	1,942,549	29,031	14,945	191,694
平成19年	614,441	13,200	21,483	2,060,732	26,659	12,937	209,947
平成18年	755,461	14,282	18,905	2,281,242	27,158	11,905	232,646

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年以前の数値は改定値）、  
分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～6月の「生産台数」は前年同期に比べ若干増加しており、「生産金額」は過去9年間で最高を記録している。これらのことから「生産平均単価」も過去9年間で最高である。また平成26年1～6月の「出荷台数」は過去9年間で最低で、「出荷金額」は過去9年間で丁度真中の5番目であった。「出荷平均単価」は過去9年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が9年間一貫して高くなっている。「6月末在庫台数」は120,126台で、過去9年間で最低である。

表 6 を基に平成 18 年から平成 26 年までの過去 9 年間の毎年 1～6 月の生産台数の推移をグラフで示したものが図 C である。生産台数は減少傾向にあることが示されている。

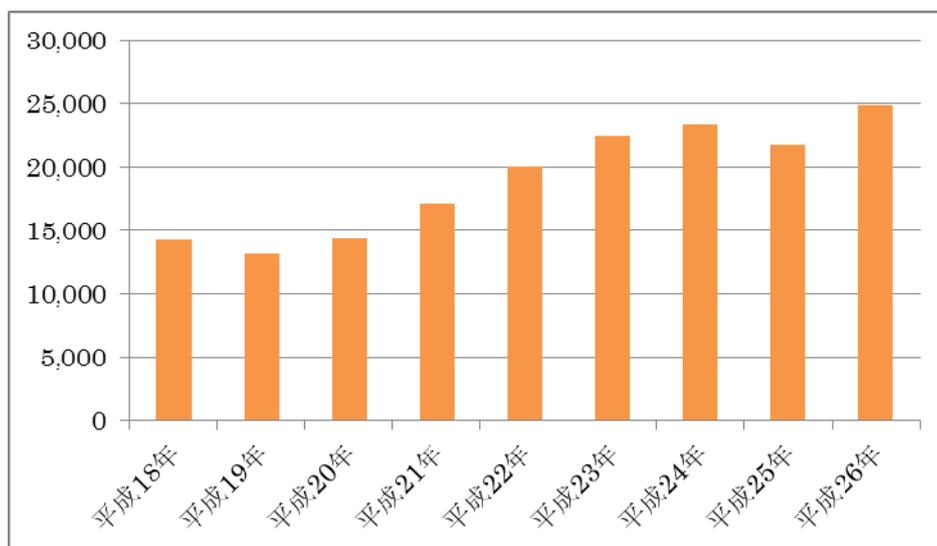
図 C 1～6 月の我が国自転車生産台数の過去 9 年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表 6 を基に平成 18 年から平成 26 年までの過去 9 年間の毎年 1～6 月の生産金額の推移をグラフで示したものが図 D である。生産金額は増加傾向にあることがわかる。

図 D 1～6 月の我が国自転車生産金額の過去 9 年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3. 我が国の自転車輸入

表7は平成26年1～6月の全ての車種の自転車の我が国への輸入について前年同期と比較しながら示したものである。総台数は1.5%増加し、総CIF金額は9.9%増加した。これらの結果、平均CIF単価は8.3%上昇した。

表7 平成26年1～6月の我が国の自転車輸入 平成25年1～6月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成26年1～6月	4,537,063	47,618,058	10,495
平成25年1～6月	4,471,862	43,332,516	9,690
変化	65,201	4,285,542	805
変化%	1.5	9.9	8.3

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

1～3月の時点では総台数が10.7%増、総CIF金額が21.3%増という状況だったので4～6月の輸入の状況を調べてみた。平成26年4～6月の全ての車種の自転車の我が国への輸入について前年同期と比較しながら示したものが表8である。

表8 平成26年4～6月の我が国の自転車輸入 平成25年4～6月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成26年4～6月	1,910,571	19,143,796	10,020
平成25年4～6月	2,098,492	19,849,112	9,459
変化	-187,921	-705,316	561
変化%	-9.0	-3.6	5.9

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～3月には輸入台数が前年同期比10.7%増加し、続く4～6月には輸入台数が前年同期比9.0%減少し、結果として1～6月の輸入台数は前年同期比1.5%増となっているという事がわかる。

表9は平成26年1～6月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表9 平成26年1～6月 我が国の車種別自転車輸入

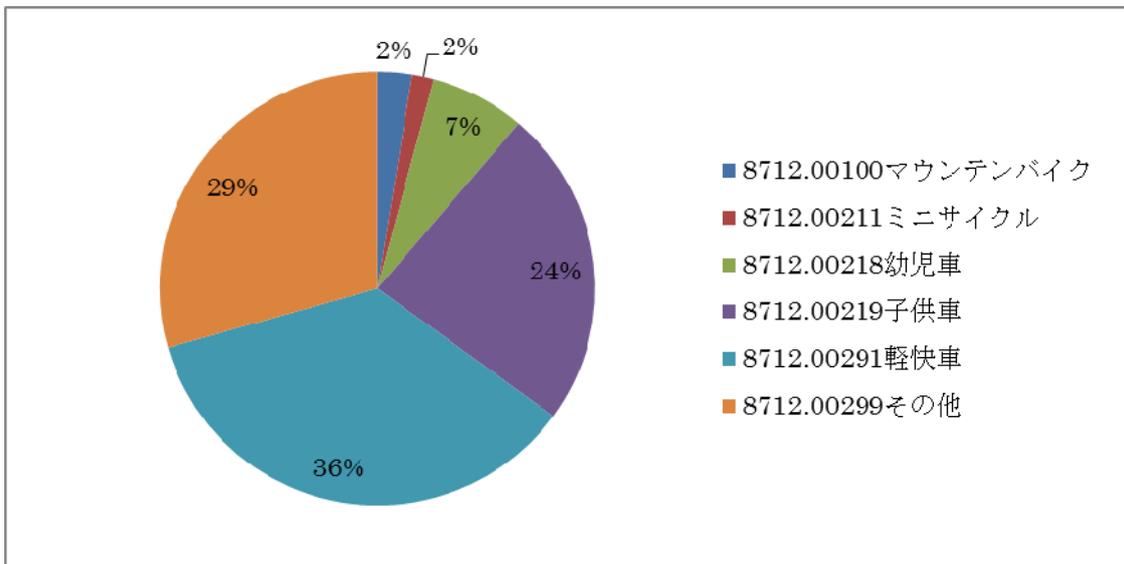
関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	115,796	2,119,112	18,300
8712.00211 ミニサイクル	73,373	801,032	10,917
8712.00218 幼児車	320,422	2,321,798	7,246
8712.00219 子供車	1,079,838	9,619,199	8,908
8712.00291 軽快車	1,613,470	15,249,756	9,452
8712.00299 その他	1,334,164	17,507,161	13,122
計	4,537,063	47,618,058	10,495

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100に分類される「マウンテンバイク」は、平均CIF単価が18,300円と最も高くなっている。8712.00291に分類される「軽快車」は最も台数が多く、平均CIF単価は9,452円となっている。また8712.00299に分類される「その他」にはスポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれるが、総CIF金額は6つの輸入車種区分の中で最も多くなっており、平均CIF単価は13,122円である。

表9を基に、平成26年1～6月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Eである。「軽快車」が36%を占め、次いで「その他」が29%を占めている。

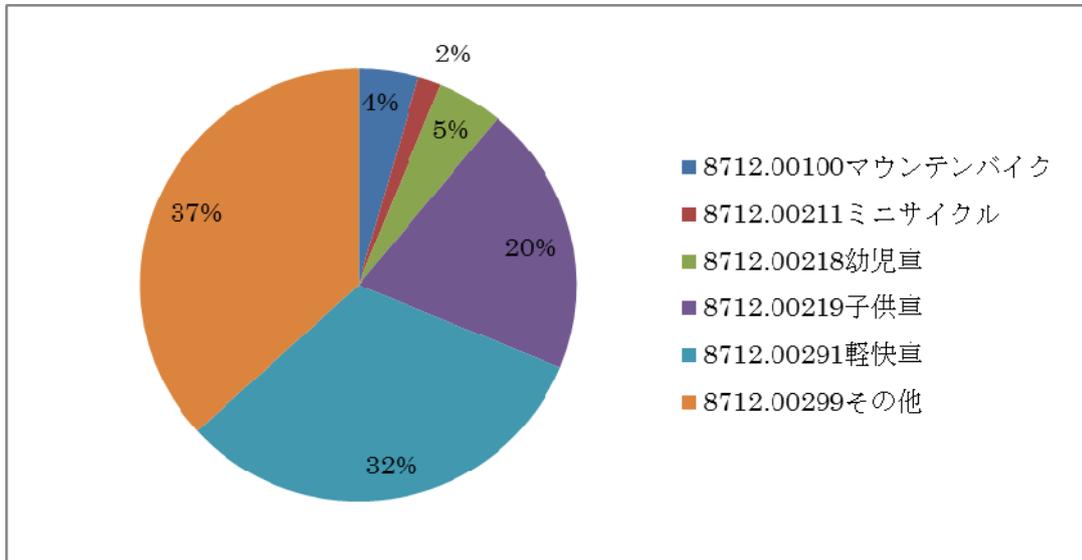
図E 平成26年1～6月の我が国自転車輸入 車種別台数割合



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表9を基に、平成26年1～6月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Fである。「その他」が37%、「軽快車」が32%と大きな割合を占めている。

図 F 平成 26 年 1～6 月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

尚、輸入における関税番号及び車種は以下の通り分類されている。

表 10 輸入における車種区分 関税番号

品名区分／関税番号	車 種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 1 は平成 26 年 1～6 月の車種別の我が国の自転車輸入について昨年同期と比較しながら示したものである。

表 1 1 我が国の車種別自転車輸入 平成 26 年 1～6 月と平成 25 年 1～6 月との比較

1～6 月 車種	平成 26 年		平成 25 年		変化 %	
	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額
8712.00100 マウンテンバイク	115,796	2,119,112	112,378	2,311,677	3.0%	-8.3%
8712.00211 ミニサイクル	73,373	801,032	36,363	454,626	101.8%	76.2%
8712.00218 幼児車	320,422	2,321,798	328,153	2,023,474	-2.4%	14.7%
8712.00219 子供車	1,079,838	9,619,199	1,080,442	8,951,614	-0.1%	7.5%
8712.00291 軽快車	1,613,470	15,249,756	1,656,647	14,534,995	-2.6%	4.9%
8712.00299 その他	1,334,164	17,507,161	1,257,879	15,056,130	6.1%	16.3%
計	4,537,063	47,618,058	4,471,862	43,332,516	1.5%	9.9%
平均単価(円)		10,495		9,690		8.3%

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

「マウンテンバイク」は輸入台数が僅かに増えたものの、金額は減少した。また「幼児車」「子供車」「軽快車」は台数が減少したものの金額は増加している。一方、「ミニサイクル」は輸入が大きく増えている。

表 8 に示した通り、平成 26 年 1～3 月と 4～6 月との間には輸入状況に変化があったようなので、4～6 月の車種別の輸入状況について平成 26 年と前年とを比較してみたのが表 1 2 である。

表 1 2 我が国の車種別自転車輸入 平成 26 年 4～6 月と平成 25 年 4～6 月との比較

4～6 月 車種	平成 26 年		平成 25 年		変化 %	
	台数	CIF 金額 (千円)	台数	CIF 金額 (千円)	台数	CIF 金額
8712.001 マウンテンバイク	42,617	761,799	54,423	1,117,838	-21.7%	-31.9%
8712.00211 ミニサイクル						
8712.00218 幼児車	167,809	1,142,505	196,594	1,242,822	-14.6%	-8.1%
8712.00219 子供車						
8712.00291 軽快車	583,519	5,125,410	674,498	5,587,696	-13.5%	-8.3%
8712.00299 その他						
計	1,910,571	19,143,796	2,098,492	19,849,112	-9.0%	-3.6%
平均単価(円)		10,020		9,459		5.9%

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

本年 4～6 月の輸入状況を前年同期と比べると、「ミニサイクル」が増加しているほかは、どの車種も減少しており、特に輸入規模の大きい「軽快車」の輸入台数は 13.5%減少していることがわかる。一方、同様に輸入の多い「その他」の輸入台数の減少幅は 4.0%にとどまっていることもわかる。

表 1 3 は毎年 1～6 月の我が国の自転車輸入の過去 14 年間の推移を示したものである。

表 1 3 毎年 1～6 月の我が国の自転車輸入の過去 14 年間の推移 全車種

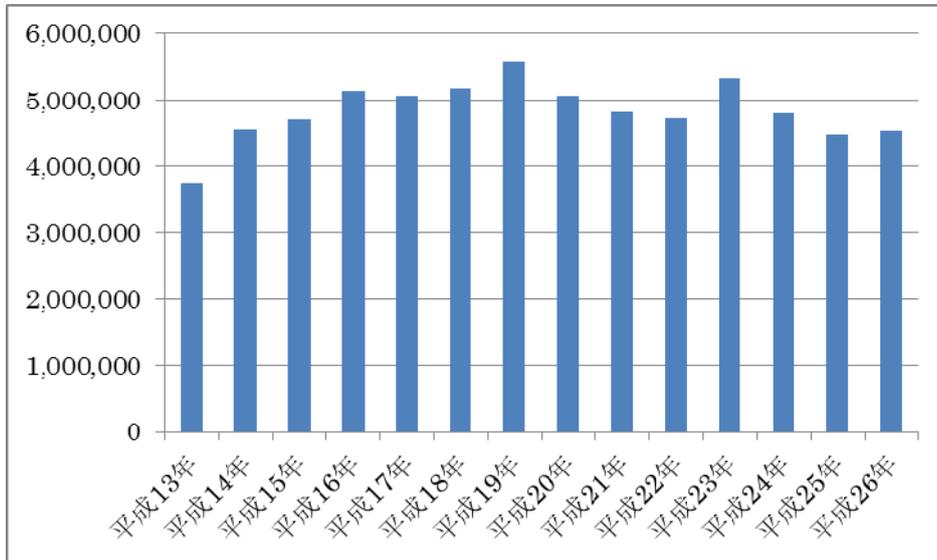
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単 価(円)
平成 26 年	4,537,063	47,618,058	10,495
平成 25 年	4,471,862	43,332,516	9,690
平成 24 年	4,798,280	41,064,255	8,558
平成 23 年	5,331,948	41,315,173	7,749
平成 22 年	4,723,113	36,870,424	7,806
平成 21 年	4,821,939	41,444,013	8,595
平成 20 年	5,067,152	42,007,396	8,290
平成 19 年	5,564,067	43,338,309	7,789
平成 18 年	5,176,368	37,205,484	7,188
平成 17 年	5,066,553	31,690,477	6,255
平成 16 年	5,136,236	30,997,096	6,035
平成 15 年	4,696,630	31,062,819	6,614
平成 14 年	4,558,983	32,773,081	7,189
平成 13 年	3,755,778	28,556,556	7,603

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 26 年 1～6 月の総輸入台数は、過去 14 年間で 3 番目に少なくなっている。一方、1～6 月の総 CIF 金額は過去 14 年間で最高である。これらの事から平均 CIF 単価は 10,495 円となり、これも過去 14 年間で最高となっている。

表 1 3 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～6 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 G である。

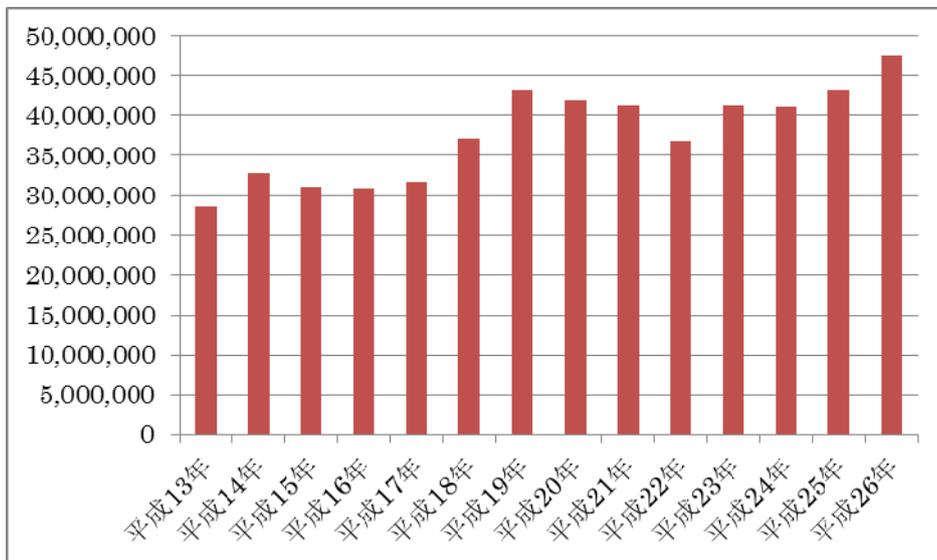
図 G 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入総台数の過去 14 年間の推移(単位：台)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～6 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 H ある。

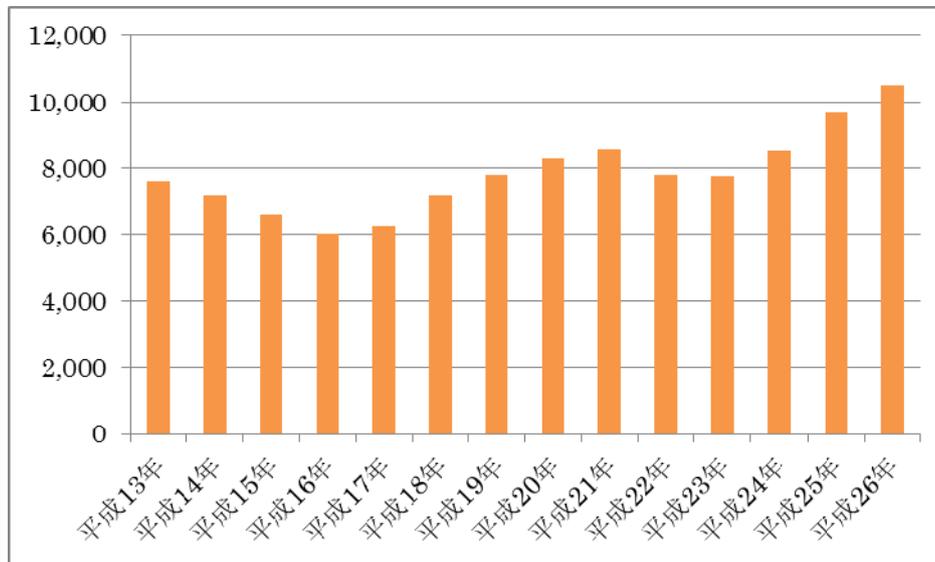
図 H 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 14 年間の推移(単位：千円)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に平成 13 年から平成 26 年までの過去 14 年間の毎年 1～6 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 I ある。

図1 毎年1～6月の我が国自転車輸入平均CIF単価の過去14年間の推移(単位：円)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去14年間の推移を示したものが表14である。本年1月の輸入台数が特に大きかったことがわかる。その後4月、5月と比較的低水準となり、6月には若干復調しているように見受けられる。

表14 月毎の総輸入台数の過去14年間の推移(単位：台)

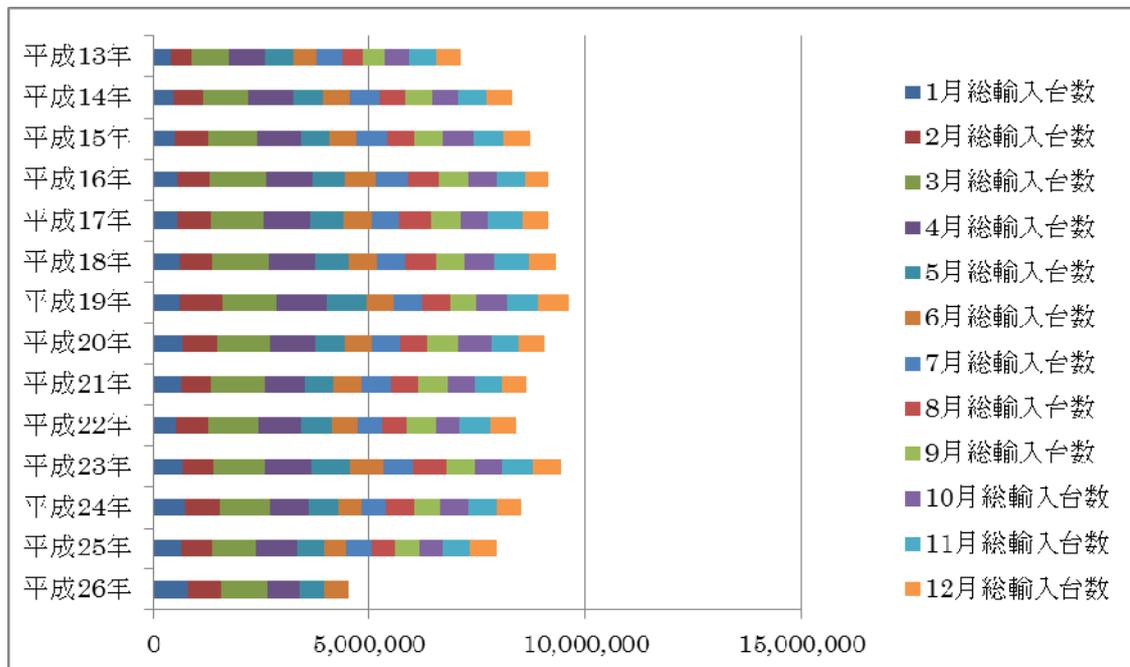
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成26年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成25年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成24年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成23年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成22年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成21年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成20年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成19年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成18年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成17年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成16年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成15年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成14年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883
平成13年	402,134	489,191	875,729	821,736	646,209	520,779

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	総輸入台数
平成26年	—	—	—	—	—	—	4,537,063
平成25年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成24年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成23年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成22年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成21年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成20年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成19年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成18年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成17年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成16年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成15年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626
平成14年	678,438	585,452	634,374	597,460	671,907	599,479	8,326,093
平成13年	597,110	492,476	508,814	557,178	635,910	544,374	7,091,640

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表14の月毎の総輸入台数の過去14年間の推移をグラフにより示したものが図Jである。平成26年は、1～3月の輸入台数が多めだったが、その後4月以降減速気味に推移している様子がわかる。

図J 月毎の総輸入台数の過去14年間の推移（単位：台）



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表15は、毎年1～6月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去14年間の推移について示したものである。

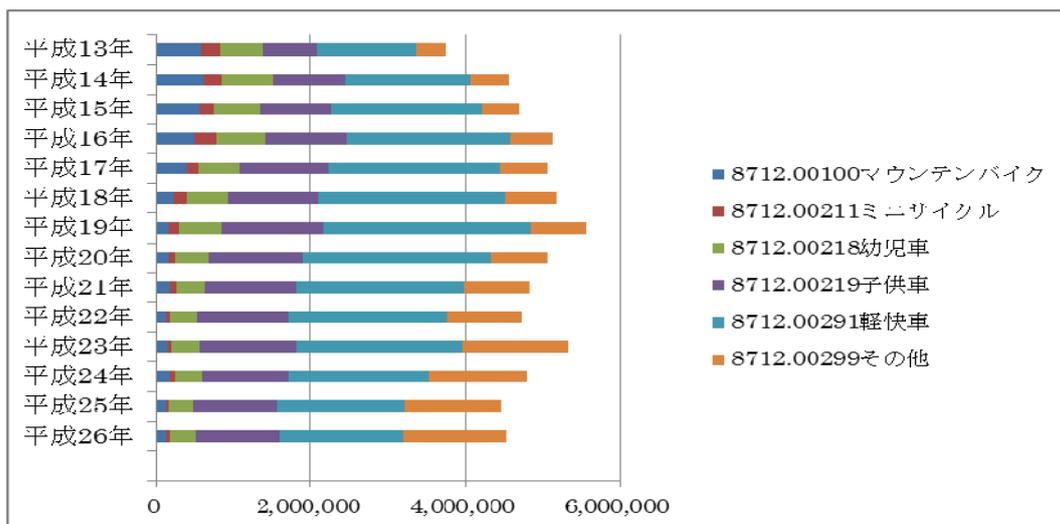
表15 毎年1～6月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去14年間の推移  
(単位：台)

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成26年	115,796	73,373	320,422	1,079,838	1,613,470	1,334,164	4,537,063
平成25年	112,378	36,363	328,153	1,080,442	1,656,647	1,257,879	4,471,862
平成24年	190,955	53,801	340,845	1,125,604	1,808,960	1,278,115	4,798,280
平成23年	133,186	65,450	361,109	1,252,489	2,153,138	1,366,576	5,331,948
平成22年	112,694	72,310	337,421	1,186,829	2,055,075	958,784	4,723,113
平成21年	178,663	82,579	361,821	1,183,163	2,170,068	845,645	4,821,939
平成20年	153,604	96,776	422,657	1,217,508	2,438,420	738,187	5,067,152
平成19年	165,451	140,261	550,506	1,302,037	2,681,058	724,754	5,564,067
平成18年	236,521	162,182	527,333	1,179,149	2,412,514	658,669	5,176,368
平成17年	388,361	155,871	535,139	1,154,215	2,213,253	619,714	5,066,553
平成16年	498,563	283,292	636,625	1,042,198	2,113,227	562,331	5,136,236
平成15年	551,806	199,093	589,703	928,226	1,946,648	481,154	4,696,630
平成14年	603,546	243,991	661,858	925,448	1,625,851	498,289	4,558,983
平成13年	575,899	254,958	557,492	690,578	1,280,317	396,534	3,755,778

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成26年1～6月は「ミニサイクル」が増加したほかは、各車種とも前年同期並みと言って良い水準である。この模様をグラフで示すと図Kのようになる。

図K 毎年1～6月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去14年間の推移  
(単位：台)



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 26 年 1～6 月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表 1 6 である。

表 1 6 平成 26 年 1～6 月 我が国の完成自転車輸入 主要供給元

供給元	総台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
中華人民共和国	4,417,098	42,347,611	9,587
台湾	110,826	4,614,046	41,633
その他	9,139	656,401	71,824
計	4,537,063	47,618,058	10,495

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の 97.4%、総 CIF 金額の 88.9%を占めている。平均 CIF 単価は 9,587 円であった。これに次ぐのが「台湾」で、台数の 2.4%、総 CIF 金額の 9.7%を占め、平均 CIF 単価は 41,633 円、「中華人民共和国」産のもの 4.3 倍である。これら 2 つの国・地域で総台数の 99.8%、総 CIF 金額の 98.6%を占めている。

#### 4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年 1～6 月の「国内向け数量」の過去 9 年間の推移を表 1 7 に示す。平成 26 年 1～6 月の「国内向け数量」は過去 9 年間で 2 番目に少なくなっている。また国内生産比率は 10.1%となっている。

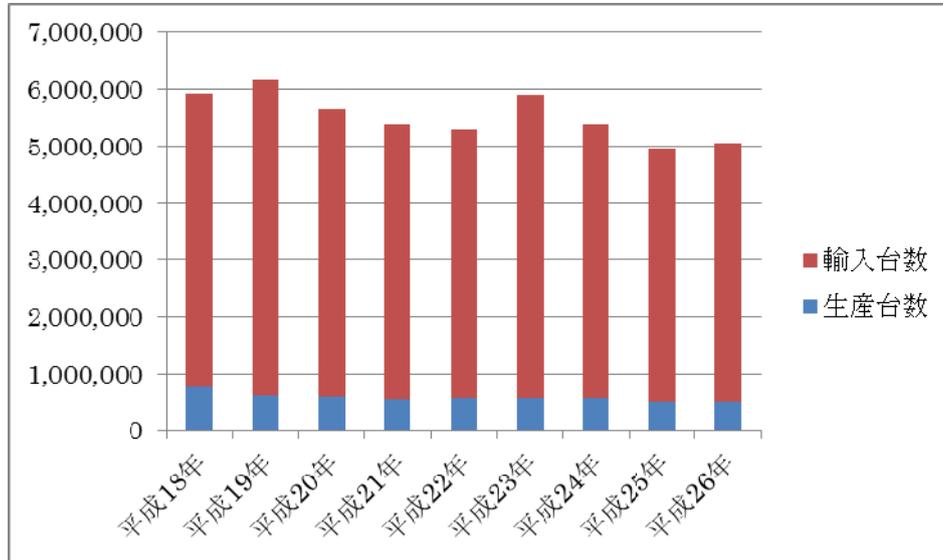
表 1 7 毎年 1～6 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 9 年間の推移

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成 26 年	508,373	4,537,063	5,045,436	10.1
平成 25 年	501,246	4,471,862	4,973,108	10.1
平成 24 年	572,870	4,798,280	5,371,150	10.7
平成 23 年	573,193	5,331,948	5,905,141	9.7
平成 22 年	571,753	4,723,113	5,294,866	10.8
平成 21 年	554,590	4,821,939	5,376,529	10.3
平成 20 年	582,440	5,067,152	5,649,592	10.3
平成 19 年	614,441	5,564,067	6,178,508	9.9
平成 18 年	755,461	5,176,368	5,931,829	12.7

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 25 年以前の数値は改定値）、  
財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図Lである。

図L 毎年1～6月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去9年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成25年以前の数値は改定値）、  
財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

## 5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成26年6月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表18に示す。平均FOB単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表18 平成26年6月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総FOB金額(千円)	平均FOB単価(円)
ミャンマー	48,099	60,840	1,265
カンボジア	43,262	58,331	1,348
ガーナ	41,263	56,627	1,372
タンザニア	35,893	53,412	1,488
UAE	26,035	50,703	1,947
アフガニスタン	16,490	23,398	1,419
タイ	15,708	29,927	1,905
フィリピン	13,161	17,886	1,359
ナイジェリア	8,398	15,722	1,872
パキスタン	6,411	7,240	1,129
その他	22,592	47,262	2,092
計	277,312	421,348	1,519

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表19に平成13年から平成26年までの過去14年間の毎年1～6月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は増加傾向にあり平成26年1～6月は過去14年間で最高となってい

る。更に本年1～6月の総FOB金額も過去14年間で最高となっている。本年1～6月の平均FOB単価は1,493円で、過去14年で2位となっている。

表19 毎年1～6月の我が国自転車輸出の過去14年間の推移 全車種

年	総台数	総FOB金額(千円)	平均FOB単価(円)
平成26年	1,598,330	2,385,563	1,493
平成25年	1,560,970	2,090,763	1,339
平成24年	1,472,001	1,919,884	1,304
平成23年	1,229,534	1,612,630	1,312
平成22年	1,183,762	1,585,455	1,339
平成21年	1,086,363	1,498,350	1,379
平成20年	1,154,173	1,923,095	1,666
平成19年	866,620	1,118,874	1,291
平成18年	643,714	698,402	1,085
平成17年	548,346	628,453	1,146
平成16年	481,314	613,121	1,274
平成15年	370,119	519,216	1,403
平成14年	298,521	393,282	1,317
平成13年	239,710	356,495	1,487

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上